

**火山調査研究推進本部政策委員会総合基本施策・調査観測計画部会
第 6 回調査観測計画検討分科会における
「リモートセンシング技術の活用に関する調査観測計画の要点（素案）」に関
する主な意見**

火山調査研究推進本部政策委員会総合基本施策・調査観測計画部会第 6 回調査観測計画検討分科会における委員からの主な意見において、「リモートセンシング技術の活用
の要点（素案）」に関連するものは以下のとおりである。要点の各項目（網かけ部分）
に対する第 6 回分科会での意見を整理しリスト化した。

1) 基本的な考え方

・基盤的・機動的な調査観測において、火山活動の状態の面的な把握や、大規模噴火を
含む噴火活動時の噴煙や広域に及ぶ火山ハザード等の把握に活用

・ここでの「リモートセンシング技術」とは前段の基盤的な調査観測計画のリモ
ートセンシング版にあたるのか。機動的な調査観測との書き分けが良く分から
ない。

（上記意見への考え方）

→「基盤的・機動的な調査観測において」としてどちらでも読めるようにした。

・衛星以外の噴煙の観測のようなリモートセンシング技術の活用も含んでいるの
か。

（上記意見への考え方）

→含んでいる。

2) 調査観測の現状

・大学等の研究機関は、各自の協定に基づいて衛星リモートセンシングを実施、解析手
法を高度化

・大学以外においても、もう少し様々な機関で開発に取り組むことが分かる記述
にして欲しい。

（上記意見への考え方）

→「大学、研究機関等の関係機関」にすることを検討。

3) 今後の計画

・気象庁は、地上設置カメラ、気象レーダーやドローンを用いて、噴火活動等の表面現
象を把握

・気象レーダーの記載があるが、その目的が噴火活動の表面現象の把握にとどま
っており、発展的な用途が書かれていない。

（上記意見への考え方）

→気象庁と相談して表現を考える

- ・大学等の研究機関はリモートセンシング技術の多項目化等の開発及び高度化を推進、各自の協定の下で火山活動評価及び噴火活動把握への貢献を期待

- ・火山ガスに関することを書いてはどうか。
- ・例えば、気象庁の二酸化硫黄の観測で衛星リモートセンシングの活用を盛り込めないか。

(上記への意見)

→気象研究所は衛星での二酸化硫黄観測の研究を進めているが、まだ研究段階の状況である。

- ・「多項目」の中で、熱、地形変化、二酸化硫黄の文言を加えてはどうか。

(上記意見への考え方)

→「多項目」の具体例を記載することを検討。

- ・大学以外においても、もう少し様々な機関で開発に取り組むことが分かる記述にして欲しい。

(上記意見への考え方)

→「大学、研究機関等の関係機関」にすることを検討。

全体について

- ・衛星リモートセンシングに対しても標準化の考えを加えてはどうか。

(上記への意見)

→衛星リモートセンシングの標準的な解析手法が特に決まっているわけではなく、標準化は難しい状況。

→干渉 SAR は基本的な手法は示せると思うが、時系列解析については標準化がまだ難しい。

→衛星リモートセンシングについては、各機関でその活用を進めていく状況下であり、標準化の記述はしなくて構わない。

- ・現状と今後の計画が被っていて読みにくい。計画の方に詳しく書いて、現状は要約して書く表現の整理をしてはどうか。

(上記意見への考え方)

→地震調査観測計画では現状の方にボリュームがあり、計画をあっさり書いている例もある

- ・「リモートセンシング技術の活用」なので、検証も必要だが、新しい技術も積極的に活用していくことが分かる記述としてはどうか。